

すべてのひとが輝く 地域が輝く

第3次伊賀市総合計画

2025(令和7)年9月 三重県伊賀市

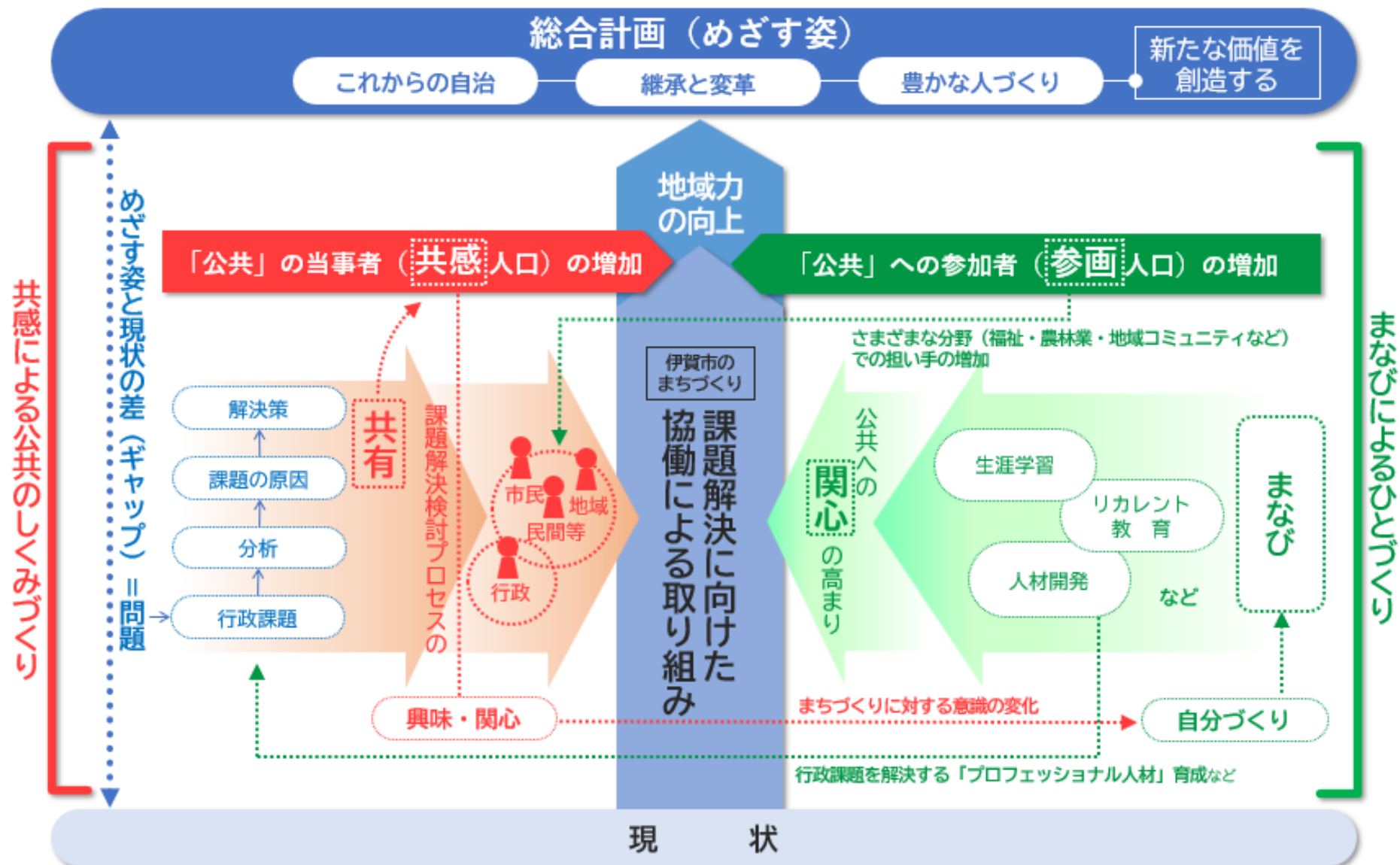
みんな
で話そう
伊賀市
の未来



将来像	「すべてのひとが輝く 地域が輝く ～みんなで話そう 伊賀市の未来～」の実現																																																																						
みんなのテーマ	こどもが育つ、大人も育つ															(1) すべてのこども、すべての人の権利を保障する (2) 多様な人材が活躍できる (3) 生涯を通じ、学びや学び直しができる (4) 様々な分野の担い手づくりを進める																																																							
	持続可能なまちを未来に引き継ぐ															(1) 土地や資源を有効に活用し、災害や危機に備える (2) 「まち」と「むら」が共生する (3) 地域経済の好循環を生み出す (4) 新しい流れを力にする																																																							
	つながりを結び直す															(1) 自治における「公共」のあり方を見直す (2) 対話の場を広げ、市民参画を促進する (3) 地域力を高め、地域の課題を解決する (4) 内外の多様な主体と協働する																																																							
分野	いのちをまもる			くらしをささえる												ひとをはぐくむ									にぎわいをつくる																																														
No.	1 1-1	2 1-2	3 1-3	4 2-1	5 2-2	6 2-3	7 2-4	8 2-5	9 2-6	10 2-7	11 2-8	12 2-9	13 2-10	14 2-11	15 2-12	16 3-1	17 3-2	18 3-3	19 3-4	20 3-5	21 3-6	22 3-7	23 3-8	24 3-9	25 4-1	26 4-2	27 4-3	28 4-4	29 4-5	30 4-6																																									
キーワード 施策	防災・危機	消防・救急	医療	共生社会	健康	スポーツ	高齢者福祉	障がい者福祉	環境	廃棄物	上下水道	都市政策	住宅	公共交通	防犯・交通安全	こども	人権・平和	同和	学校教育	生涯学習	文化・芸術	歴史・文化遺産	住民自治・市民活動	多文化共生	地域経済	農業・林業	都市拠点	商工・労働	観光	関係人口																																									
キーワード 基本事業	防災	危機管理	消防	救急	地域医療	上野総合市民病院	共助	相談	つながり・社会参加	健康	健康保険	スポーツ活動	スポーツ施設	保健・介護予防	認知症	高齢者福祉サービス	介護保険サービス	障がい者相談	障害福祉サービス	環境保全	生活環境	ごみ処理	し尿処理	上下水道	都市計画	景観・公園	道路・河川	耐震化	市営住宅	空き家	交通デザイン	バス	鉄道網	伊賀線	防犯・消費者保護	交通安全	こどもの権利	育ち支援	幼児教育・保育	人権啓発	非核平和	男女共同参画	同和	学校教育	教育環境	社会教育	青少年健全育成	図書館	文化・芸術	芭蕉翁顕彰	文化財・歴史資料	歴史まちづくり	住民自治	市民活動	多文化共生	産業振興	公共調達のあり方	農業	農村整備	森林環境	森林資源	市街地の活性化	都市機能の集約	にぎわい忍路回廊	商業	企業立地	起業・雇用・労働	観光誘客・情報発信	観光客の受け入れ	地域創生	移住
5. 計画の推進																																																																							
【効果的な自治体運営】 広聴広報、公共のしくみづくり、ひとづくり、行政組織、人材、広域連携、デジタル変革																																																																							
【健全な財政運営】 財政運営、税収と債権、公有財産																																																																							

5. 計画の推進

【効果的な自治体運営】 広聴広報、公共のしくみづくり、ひとづくり、行政組織、人材、広域連携、デジタル変革
 【健全な財政運営】 財政運営、税収と債権、公有財産



※「民間等」とは、地域、関係団体、民間事業者、大学、専門家などの多様な主体を総称し表現しています。

4-1 地域経済

4. にぎわいをつくる

めざす姿 地域で循環する経済をつくる

みんなのテーマ

こどもが育つ、
大人も育つ

- ➡ 循環型の地域経済を支える人材の育成に取り組みます。
- ➡ 地域経済の担い手である人材の育成支援や雇用の質の向上に取り組みます。

持続可能なまちを
未来に引き継ぐ

- ➡ 地域内循環、地産地消等、持続可能な産業構造の構築に取り組みます。
- ➡ ビッグデータを活用するなど、大局的な見地から分析・検証し、地域の特性や資源に応じた循環構造の構築に取り組みます。

つながりを結び直す

- ➡ 市民や地元の企業、行政が協力してまちづくりに取り組む体制を整えます。

計画	
----	--

役 割	
市民 (事業者や団体 などを含む)	・買物やサービスを利用するときは、できる限り市内の事業者を選ぶよう努めます。 ・事業者は、利用者が安全に商品の購入やサービスの提供が受けられるよう努めるほか、従業員が安心して働ける環境を提供するよう努めます。
地域 (住民自治協 議会)	・地域住民への積極的な情報発信に努めます。 ・経済循環を意識した地域活動を推進します。
行政	・多様な媒体を活用し、内外への積極的な情報発信を行います。 ・市内からの公共調達に努めます。 ・各種施策の効率的な推進と、高い効果発現をめざし、部内各所属が横断的に連携する（仮称）産業プロモーションプロジェクトチームを設置します。

現 状	課 題	具体的な取組	
〔産業振興〕 ● 豊かな自然や歴史、伝統文化など、魅力的な地域資源がたくさんあります。 ● グローバル化、情報化の進展により地域を取り巻く経済環境が大きく変化しています。 ● 人口減少や少子高齢化が進展し、地域経済の活力低下が懸念されています。	● 地域資源（自然、歴史、文化、地場産業など）を最大限に活用する必要があります。 ● 多様な主体（市民、事業者、行政など）が業種を超えて連携し、持続可能な産業振興を図る必要があります。 ● コロナ禍以降地域の経済活動は回復傾向にありますが、物価高騰等の影響もあり、コロナ禍前の状況までの回復には至っていません。	産業振興	地域内で循環する経済を作ります
			● 部内各所属が横断的に連携する（仮称）産業プロモーションプロジェクトチームを設置します。 ● 多様な主体が連携、協働できるよう、伊賀市産業振興懇談会の開催を始め、地域経済に関する情報や意見の交換ができる場を創出します。 ● （仮称）産業振興計画を策定し、市内の経済循環の活性化を図ります。 ● 産業振興条例の認知度を高め、その理念を広く市民に周知します。
〔公共調達のあり方〕 ● 過度の価格競争を防止するための最低制限価格の設定やスライド条項の適切な活用のほか、総合評価方式や工事において週休2日制を導入するなど、労働者の環境改善や地域の担い手の確保・育成に取り組んでいます。	● 現状の取組が、建設工事をはじめ業務委託や指定管理者の労働に従事している人たちの労働条件や労働環境の改善に繋がっているか不透明です。	公共調達のあり方	働く人や地元事業者を豊かにするとともに、地域経済の活性化を図ります
			● 関係団体等からの意見を集約し、課題等を整理したうえで、実情に応じた公契約条例を制定します。 ● 条例の理念を広く周知するとともに、モニタリング等を実施し、効果的な運用を図ります。